

2012年 [災害と文化]—その3—東北・秋田の新ステージ 「菅江真澄と秋田」2014年国民文化祭・秋田を迎え

もう師走12月の案内を出す季節となったす。

東北復興、秋田活性化……なんとだすか？

私達は「2014年国民文化祭・秋田」の首都圏での告知活動をステップにと前回確認したし。

今回のテーマは「あの菅江真澄を今」、東京学芸大学教授石井正巳さんをメインゲストに、また男鹿市菅江澄江研究会会長天野荘平さんの全国大会報告合わせ語ってもらい、もちろん世話人や会場のみなさんからもわいわいとおらが秋田みんなして!!だす。参加、御支援集まってけれ、たのみます。

なんとか **〈け〉** です。



石井 正巳 (いしい まさみ)

東京都生まれ。1980年東京学芸大学卒、1984年同大学院修士課程修了、同大学助教授から教授。遠野市立博物館・図書館長を経て顧問。「遠野物語研究所」研究主幹を兼務、旅の文化研究所運営評議委員。専門は説話論。佐々木喜善や「遠野物語」を研究、筑摩書房「柳田國男全集」の編集委員。



呼びかけ **秋田を応援する首都圏文化会議(「秋田文化会議」)**

(世話人 西木正明、浅利香津代、橋本五郎)

協力 秋田県東京事務所、秋田市東京事務所、秋田ふるさと応援団

ときとところ **2012年12月6日(木)18時~20時30分**
日本プレスセンター 10Fホール (日比谷内幸町)

会費 **2000円** (会場費、資料など)



〈世話人〉



西木正明
作家



浅利香津代
女優



橋本五郎
ジャーナリスト

※ご返信は12月1日くらいまでをお願いします。